



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,048	21.8	87	4.1	85	3.0	46	△7.6
26年3月期第1四半期	860	△5.2	83	△65.8	82	△66.1	50	△66.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 50百万円 (1.7%) 26年3月期第1四半期 49百万円 (△66.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	4.08	ー
26年3月期第1四半期	4.41	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	2,851	1,743	61.1	152.98
26年3月期	2,836	1,851	65.3	162.52

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,743百万円 26年3月期 1,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	0.00	ー	14.00	14.00
27年3月期	ー				
27年3月期(予想)		0.00	ー	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,043	19.8	212	△31.3	210	△31.4	110	△41.4	9.68
通期	4,846	30.2	1,023	44.9	1,020	44.9	619	37.9	54.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）P-pro. Korea Co., Ltd.
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	12,370,000株	26年3月期	12,370,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	975,094株	26年3月期	975,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	11,394,906株	26年3月期1Q	11,394,906株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税増税に伴う個人消費の停滞が見られたものの、持ち直しの兆しもありおおむね底堅く推移しました。一方で、新興国の成長鈍化への懸念や相継ぐ政情不安により、先行きの不透明な状況は続いております。

また、医薬品業界におきましては、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、近年、業界内の淘汰が進んだ結果、競争は激しくなっているものの、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業につきましては、増加するがん領域及び中枢神経系（CNS）領域の案件の受託体制を強化するとともに、引き続き営業活動を強力に推進し、複数の新規案件を受託した結果、売上に貢献することとなりました。また、利益面においても売上の増加が、人件費の増加及びのれん償却額の発生を吸収し、増益となりました。同様に、CSO事業につきましても、営業活動を強力に推進した結果、新規案件の受託に成功し、売上及び利益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,048百万円（前年同期比21.8%増）、経常利益は85百万円（同3.0%増）と増収増益となりました。しかしながら、海外子会社における税負担の影響により、四半期純利益は46百万円（同7.6%減）と減益となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国または地域において同時並行的に行うことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ14百万円（0.5%）増加し、2,851百万円となりました。これは、主に立替金の増加等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ123百万円（12.5%）増加し、1,107百万円となりました。これは、主に短期借入金及び未払金の増加等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ108百万円（5.9%）減少し、1,743百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より41百万円減少し、1,567百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は97百万円（前年同四半期は134百万円の使用）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益85百万円の計上があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は38百万円（前年同四半期は1百万円の使用）となりました。これは、主に差入保証金の差入れによる支出37百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は100百万円（前年同四半期は26百万円の獲得）となりました。これは、主に短期借入金の増加額60百万円があったものの、配当金の支払による支出151百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年5月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。CSO事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成26年3月期末の受注残高に比べ平成26年7月31日時点の受注残高は4.2%減少しておりますが、これは、受託案件の新規契約があったものの、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRAの増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成26年 3月期末 (A)	平成27年3月期		増減率% (B-A)/A
		第1四半期末	平成26年7月 31日時点 (B)	
受注残高	5,604	5,317	5,367	△4.2
内訳	塩野義製薬	2,152	1,854	△13.8
	小野薬品工業	424	767	80.8
	中外製薬	883	724	△18.0
	武田薬品工業 グループ	674	563	△16.5
	その他	1,470	1,407	△0.9

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社の100%子会社であるLINICAL KOREA CO., LTD. が、その100%子会社であるP-pro. Korea Co., Ltd. を吸収合併したため、P-pro. Korea Co., Ltd. を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,557,347	1,516,182
売掛金	634,720	623,599
有価証券	51,050	51,056
仕掛品	661	—
前払費用	39,443	40,941
繰延税金資産	43,391	21,977
立替金	59,215	105,072
その他	1,414	7,309
貸倒引当金	△107	△190
流動資産合計	2,387,137	2,365,948
固定資産		
有形固定資産	37,551	35,916
無形固定資産		
のれん	136,913	134,645
その他	9,809	10,518
無形固定資産合計	146,722	145,164
投資その他の資産		
差入保証金	230,159	266,958
その他	34,925	37,123
投資その他の資産合計	265,085	304,081
固定資産合計	449,359	485,162
資産合計	2,836,497	2,851,111
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	107,494	165,168
未払費用	61,438	74,274
未払法人税等	75,718	22,042
未払消費税等	21,996	68,452
預り金	115,549	147,354
賞与引当金	94,825	52,151
その他	6,038	14,085
流動負債合計	513,063	633,530
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	17,500	10,000
退職給付に係る負債	94,132	105,571
その他	9,900	8,808
固定負債合計	471,533	474,379
負債合計	984,596	1,107,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	1,842,703	1,729,650
自己株式	△289,174	△289,174
株主資本合計	1,840,572	1,727,519
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,328	15,682
その他の包括利益累計額合計	11,328	15,682
純資産合計	1,851,900	1,743,201
負債純資産合計	2,836,497	2,851,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	860,651	1,048,531
売上原価	594,523	746,706
売上総利益	266,128	301,824
販売費及び一般管理費	182,203	214,427
営業利益	83,924	87,397
営業外収益		
受取利息	228	148
営業外収益合計	228	148
営業外費用		
支払利息	1,169	929
為替差損	175	1,337
営業外費用合計	1,344	2,267
経常利益	82,809	85,279
税金等調整前四半期純利益	82,809	85,279
法人税、住民税及び事業税	2,981	19,807
法人税等調整額	29,554	18,996
法人税等合計	32,536	38,803
少数株主損益調整前四半期純利益	50,272	46,475
四半期純利益	50,272	46,475

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,272	46,475
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△290	4,353
その他の包括利益合計	△290	4,353
四半期包括利益	49,982	50,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,982	50,829

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82,809	85,279
減価償却費	2,834	3,289
のれん償却額	—	7,036
長期前払費用償却額	926	697
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,730	△42,673
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,458	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	10,961
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	77
受取利息及び受取配当金	△228	△148
支払利息	1,169	929
為替差損益 (△は益)	△84	△423
売上債権の増減額 (△は増加)	27,337	11,554
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,321	46,471
たな卸資産の増減額 (△は増加)	—	661
立替金の増減額 (△は増加)	△10,438	△45,856
前払費用の増減額 (△は増加)	△15,098	△1,201
未払金の増減額 (△は減少)	9,884	56,743
預り金の増減額 (△は減少)	33,793	31,800
その他	1,512	△2,055
小計	98,822	163,145
利息及び配当金の受取額	229	164
利息の支払額	△2,157	△1,691
法人税等の支払額	△231,800	△64,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	△134,905	97,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△711
無形固定資産の取得による支出	—	△770
長期前払費用の取得による支出	△825	△39
差入保証金の差入による支出	△906	△37,799
差入保証金の回収による収入	74	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,657	△38,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	210,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
配当金の支払額	△174,672	△151,252
リース債務の返済による支出	△1,002	△1,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,824	△100,075
現金及び現金同等物に係る換算差額	△216	△132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△109,955	△41,158
現金及び現金同等物の期首残高	1,733,116	1,608,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,623,160	1,567,239

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。